



平成21年8月14日

各 位

会 社 名 豊 商 事 株 式 会 社
 代表者の役職名 取 締 役 社 長 石 黒 文 博
 (JASDAQ・コード番号8747)
 問い合わせ先 常務取締役管理本部長 篠 塚 幸 治
 電 話 番 号 (03)3667-5211(代表)

平成22年3月期第1四半期連結業績と前年同期業績との差異に関するお知らせ

平成22年3月期第1四半期連結会計期間(平成21年4月1日～平成21年6月30日)の連結業績と平成21年3月期第1四半期連結会計期間(平成20年4月1日～平成20年6月30日)の連結業績に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績の差異

(単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
平成21年3月期第1四半期実績(A)	1,296	△157	△113	△66
平成22年3月期第1四半期実績(B)	1,088	△234	△229	△123
増減額 (B-A)	△208	△76	△116	△57
増減率 (%)	△16.1	—	—	—
(参考)平成21年3月期実績	5,090	△371	△237	△260

2. 差異が生じた理由

当第1四半期(平成21年4月1日～平成21年6月30日)の商品先物業界は、景気後退等の影響により投資の手控え等から業界全体の売買高が17百万枚で前年同期比32.9%の減少となっており、直前の四半期(平成21年1月～3月)実績(売買高19百万枚、前年同期比40.5%減)と比較すると、前年同期比率においてやや下げ止りの兆候が見られるものの、依然として引き続き厳しい環境下にあります。

当第1四半期の当社連結業績においては、商品先物市場の低迷を受けて商品先物部門の収益が振るわず、一方、外国為替証拠金取引(FX取引)は堅調に推移(受取手数料においては前年同期比74.8%増となり、構成比では前年同期の14.6%から当第1四半期では29.1%に上昇)したが、営業収益合計では前年同期に比べ208百万円減少の1,088百万円(前年同期16.1%減)となり、内訳では受取手数料が976百万円(同12.4%減)、売買損益が95百万円(同39.2%減)、その他収益が15百万円(同34.9%減)となっております。この結果、営業損益は、営業費用を1,322百万円(前年同期比9.1%減)計上して、234百万円の損失となりました。これに伴い、経常損失は229百万円、四半期純損失は123百万円となっております。

以 上